

平成22年度 後期理角解度テスト2問題

科目名 コンピュラ
担当教員 石原真紀夫
実施日付 1月21日(金) 1限目(1組・2組合同) A11
持ち込み 許可・禁止

情報工学科 年 組 学籍番号

氏名 _____ 点/104点

《表記》BNFの記号として ::= | ■* ■+ を用います。

問1 文法1の下降型構文解析LL(1)に関する以下の設問に答えなさい。
(文法1)

非終端記号 A B P E

終端記号 n + - =

生成規則

A ::= n P n B ①

B ::= P n B ②

B ::= ε ③ ※ ε (イー) は長さ0の語です

P ::= + E ④

P ::= - E ⑤

E ::= = ⑥ 出発記号 A

設問1 文法1における次のFirst()とFollow()を答えなさい。ここで、Follow(A) = {\$}です。【各2計14】

〔1〕First(A) 〔2〕First(B) 〔3〕First(P)

〔4〕First(E) 〔5〕Follow(B) 〔6〕Follow(P)

〔7〕Follow(E)

設問2 文法1のLL(1)解析表を以下に示します。入力記号列をn+nとして構文解析を行なさい。解析過程は1ステップずつ示し、複数のステップを一度に行わないことします。【10】

(LL(1)解析表)

	n	+	-	=	\$
A	A → n P n B				
B		B → P n B	B → P n B		B → ε
P		P → + E	P → - E		
E				E → =	

問2 上昇型構文解析SLR(1)に関する以下の設問に答えなさい。

※LR(0)項の括弧[]、集合の括弧{}、closure()やgoto()の引数の括弧()を明確に区別して解答してください。

設問1 文法2のLR解析表を作りたい。
(文法2)

非終端記号 A B

終端記号 a b

生成規則

A ::= a B ①

B ::= b B ②

B ::= a ③ 出発記号 A

文法2にA'→Aを加えた文法2'の正規集合を下記の空欄を適切に埋めて完成させなさい。【各2計12】

(正規集合)

I₀ = closure({ [1] })

{[A'→·A], [A→·a B]}

goto(I₀, A) = closure({[A'→A ·]})

= { [2] } = I₁

goto(I₀, a) = closure({[A→a ·B]})

= { [3] } = I₂

goto(I₂, B) = {[A→a B ·]} = I₃

goto(I₂, b) = {[B→b ·B], [B→·b B], [B→·a]} = I₄

goto(I₂, a) = {[B→a ·]} = I₅

goto(I₄, [4]) = {[B→b B ·]} = I₆

goto(I₄, [5]) = I₄と等しい

goto(I₄, [6]) = I₅と等しい

よって、正規集合CはC = I₀, I₁, I₂, I₃, I₄, I₅, I₆です。

設問2 以下に示す文法2のLR解析表の空欄を埋めなさい。【各3計12】

LR解析	a	b	\$	A	B
0	[1]			[2]	
1			acc		
2	s 5	s 4			3
3			[3]		
4	s 5	s 4			6
5			[4]		
6			r 2		

設問3 文法1のLR解析表を以下に示す。入力記号列をn+nとして構文解析を行なさい。解析過程は1ステップずつ示し、複数のステップを一度に行わないことします。【10】

(LR解析表)

	n	+	-	=	\$	A	B	P	E
0	s 2					1			
1				acc					
2	s 4	s 5					3		
3	s 6								
4			s 8					7	
5			s 8						9
6	s 4	s 5		r 3		10	11		
7	r 4								
8	r 6								
9	r 5			r 1					
11	s 12								
12				r 3		13	11		
13				r 2					

出現識別子	出現割合	出現識別子	出現割合
3dtv	20%	iphone	10%
blueray	30%	android	40%

(スタック機械命令コード)

命令(オペコード)	パラメータ(オペランド)	機能	意味
PUSH	para	push	paraが変数であればその中の値をスタックへ積み、paraが数値であればその値をスタックへ積む。
POP		pop	スタックのトップの値を取り出す。
ASSIGN	var	assign	スタックのトップをpopし、その値を変数varへ書き込む。
JUMP	label	jump	ラベルlabelへ飛ぶ。
FJUMP	label	forkjump	スタックのトップをpopし、0であればラベルlabelへ飛ぶ。
TJUMP	label	tailjump	スタックのトップをpopし、0の値を反転する。結果をスタックのトップへpushする。
INV		invert	符号反転
ADD		add	加算
SUB		sub	減算
MULT		mult	乗算
DIV		div	除算
MOD		mod	剰余
GTOP		gtop	スタックのトップと2番目をpopし、2番目がトップ以上であれば1、そうでなければ0をスタックのトップへpushする。
GEOP		geop	スタックのトップと2番目をpopし、2番目がトップより大きければ1、そうでなければ0をスタックのトップへpushする。
LTOP		ltop	スタックのトップと2番目をpopし、2番目がトップ以下であれば1、そうでなければ0をスタックのトップへpushする。
LEOP		leop	スタックのトップと2番目をpopし、2番目がトップ以下であれば1、そうでなければ0をスタックのトップへpushする。
EQOP		eqop	スタックのトップと2番目をpopし、2番目とトップが等しいならば1、そうでなければ0をスタックのトップへpushする。
NEOP		neop	スタックのトップと2番目をpopし、2番目とトップが等しくないならば1、そうでなければ0をスタックのトップへpushする。
ANDOP		andop	スタックのトップと2番目をpopし、2番目とトップで一方または両方が0ならば0、そうでなければ1をスタックのトップへpushする。
OROP		orop	スタックのトップと2番目をpopし、2番目とトップで両方が0ならば0、そうでなければ1をスタックのトップへpushする。

問3 次に示す式の後置記法表現に関する設問に答えなさい。

〔1〕a a b c * d + + =

〔2〕a a b + c d + * =

〔3〕a a b c d + + =

設問1 各後置記法表現が表す演算と同等の演算を行う式を答えなさい。【各3計12】

〔a〕a = (a+b) * (c+d)

〔b〕a = (a+b) * c + d

〔c〕a = a+b * (c+d)

〔d〕a = a+b * c + d

設問2 各後置記法表現が表す演算と同等の演算を行う4つ組表現を答えなさい。ここで、AとBは演算結果保持用の一時変数とします。【各3計12】

〔a〕(+, c, d, A) 〔b〕(*, b, c, A)

(+, a, b, B)

(*, B, A, a)

〔c〕(+, c, d, A) 〔d〕(+, a, b, A)

(*, b, A, B)

(+, a, B, a)

(+, B, d, a)

問4 次に示すスタック機械用の各コードを実行した後のスタックの状態を解答欄の記入例にしたがい答えなさい。ただし、最初スタックは空の状態とします。下の表にスタック機械の命令コードとその機能、意味を示します。【各2計8】

〔1〕PUSH 1

PUSH 2

ADD

LTOP

PUSH 3

PUSH 4

SUB

PUSH 5

PUSH 6

EQOP

〔4〕PUSH 7

PUSH 8

LTOP

PUSH 9

PUSH 1

GTOP

ANDOP

【解答欄】

【問1 設問1】